

巻末小特集

愛知サマーセミナーに参加しました！

7月16日(土)に東海学園大学・高校などで開催された愛知サマーセミナーに名古屋市図書館も講師として参加し、「本のPOP作り講座」を行いました。

当日は講座数がなんと2000(!)を超える中、20人ほどの方が名古屋市図書館の講座を選んでくれました。ありがとう～！！



▼完成した作品の一部



受講者のほとんどがPOP作りは初めてだったにも関わらず、できあがった作品は…プロ並み！！

現物は受講者それぞれが持ち帰りましたが、カラーコピーしたものを、夏休み期間中、参加者にゆかりのある地域の図書館で展示しました。

◎編集後記◎ ☆中学生の時には志望大学決めてたな…近いから。おかげで卒業後の進路はブレっし。進路は真面目に考えようね!(夜) 第一線の研究者のお話を聞くと、熱い思いがひしひしと伝わってくるぞ。オープンキャンパスがあればぜひ参加してみよう。(NA) 今回の取材で名古屋大学の図書館に行って、スタバが入っていたことにびっくり…時代の流れ?(sh) 名古屋大学の図書館には、勉強できる個室があって、鍵が自動販売機のように借りられる。すごい!(つほ) みんな～、あのスマホゲームの聖地「鶴舞公園」のすぐとなりにも図書館があるよ～。歩き回った後は、図書館に寄って本を借りてね。(苔) 次回もごちゃっとをお楽しみに！

※表紙の画像掲載に関する著作権の許諾については、出版社の許可をいただいております。

ティーンズ広報紙 第47号

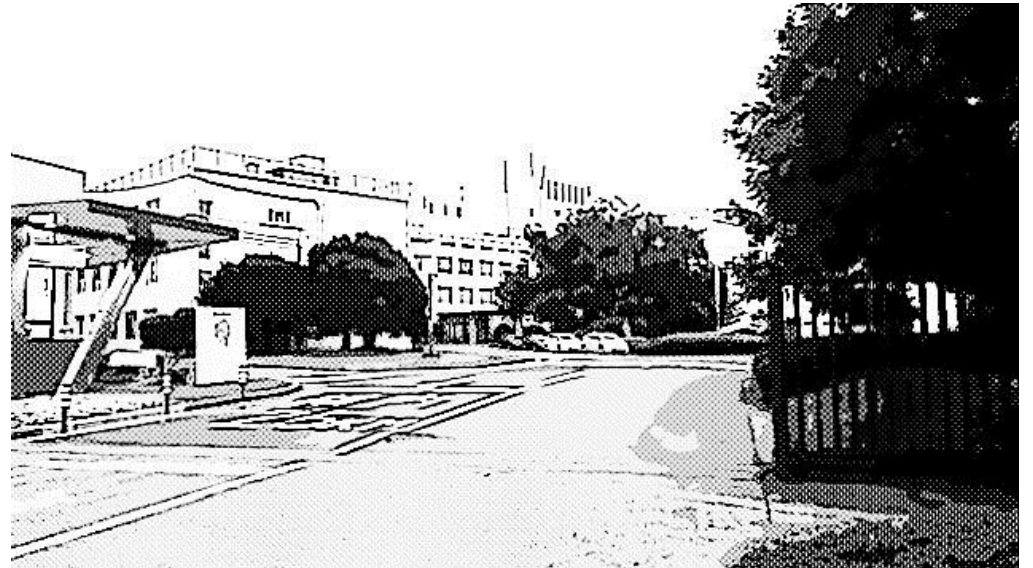
ごちゃっと

2016年9月1日発行

発行：名古屋市鶴舞中央図書館

Tel 052-741-9811

Fax 052-733-6337



特集：名大オープンキャンパスに行ってみた

巻末小特集：愛知サマーセミナーに参加しました！

この印刷物は古紙パルプをふくむ再生紙を使用しています。

特集 オープンキャンパスに行ってみた！

オープンキャンパスとは、大学が中高生に「ぜひこの大学に来て！」とアピールする場。あちこちの大学で開かれていますよ～。
わが「ごちゃっと」メンバーも取材に行ってきました！

8月8日（月）PM0：50

——この夏一番暑い日。

行き先は、

名古屋大学

【リケジョを目指す女子中高生向けのセミナー】を突撃！



会場の豊田講堂
おおきい！



熱気あふれる会場

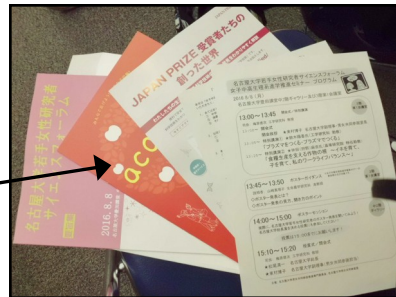
PM0：55

開催前。女子中高生で大入満員。
会場には緊張感が漂っている。

- ☆制服と私服は半々くらい
- ☆どの大学に行くかまだ決めてない、という子もいました。

入口でたくさん資料をもらった。

理系女子大生の有志サークル
「あかりんご隊」のパンフも！



ピンクと赤で女子力高め

「夜を乗り越える」

又吉直樹 / 著 小学館

「ピース」の又吉さんが、なぜ本を読むのかという問いに向き合います。又吉さんは少年期に大宰治の『人間失格』に出会い、自分と同じ悩みを持つ人間がいることに驚きます。又吉さんにとって、本は生きるために必要なもの。本が又吉さんの心にどう響いたかが誠実に語られていて、読んでみたくなります。(夏)



「英語に好かれるとっておきの方法」

横山カズ / 著 岩波書店

高校英語の偏差値が30台だった著者は現在、同時通訳者。海外に留学せず、国内で独習して英語の「聞く」「書く」「読む」「話す」をマスターした。その方法の核は、自分が何を感、どのような気持ちでいるかを、英語で思い、言葉にして伝えること。受験だけでなく、これからの人生においても活用できそう。(山田克男(かつお))



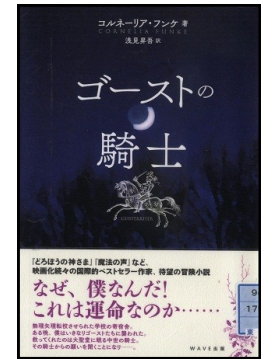
「ゴーストの騎士」

コルネリア・フンケ / 著

浅見省吾 / 訳 WAVE出版

寄宿学校に転校させられ、そこに馴染む間もなく幽霊に襲われた少年ジョン。他の人には見えず、彼だけを狙ってくる幽霊たちからジョンを救ったのは、古い大聖堂に眠る中世の騎士だった。執念深い幽霊と戦う一方、騎士の抱える苦悩に気づいたジョンは…。

歴史あるソールズベリーの町を舞台に繰り広げられる物語。(暁あかつき)



案内

新刊

「The NINJA-忍者ってナンジャ!?-公式ブック」

「The NINJA-忍者ってナンジャ!?-」実行委員会/監修 株式会社KADOKAWA

謎に包まれた「忍者」の真の姿を、残された忍術書や科学的アプローチによって解き明かして

くれるこの本の心技体を極める忍術には、今に活かせる

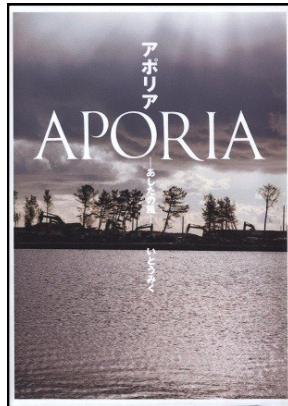
知恵もたくさんあるの本書と同名の企画展が、この夏から日本科学未来館で開催されており、10/25からは三重県総合博物館にやって来る。少し足を延ばして、魅惑の忍者の世界へ浸かりに行こう!(暁あかつぎ)



「アポリア あしたの風」

いとうみく/作 童心社

人との関係を断ち切るように部屋に引きこもっていた中学生、一弥(いちや)の日常は、地震と津波によって一変した。倒壊した家から母を救えず独り生き残り、命の恩人の男性に敵意さえ抱く。独り膝を抱えていた少年が、孤立したビルで見ず知らずの人々と避難生活を送るなかで成長する姿を描く。(夏)



「Q→A」 草野たき/著 講談社

アンケートの質問に回答する時って、自分を振り返るから自然と本当の気持ちができるはず。(質問の答えに本音を書くかどうかは別問題)この本の主人公は、それぞれ学校や塾

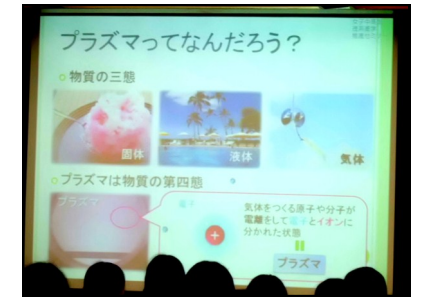


や応募サイトなどでのアンケートで、自分に向き合ってしまったら人の中学三年生の彼女らの中学校生活最後の一年間はいかに!?(山田克男(かつお))

PM1:05

特別講演①工学部、研究者になったばかりの鈴木先生のプラズマのお話。

結構ムズカシイと思ったけど、後で「プラズマの話が面白かった!」という中3女子を発見!

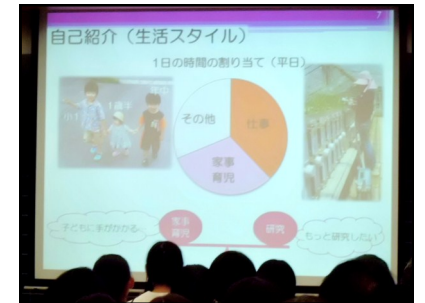


固体でも液体でも気体でもない第4態?

PM1:25

特別講演②イネの根と食糧生産を研究している仲田先生のお話。

海外にも研究に行く若手研究者の仲田先生。3人の子どものママでもありました。

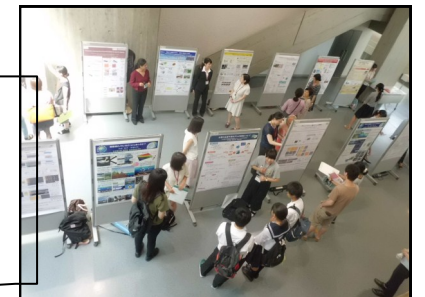


ママさん研究者は大忙し

PM2:00

ポスターセッションが始まる。

ポスターセッションとは、研究者が自分の研究内容を大きな一枚のポスターにして貼り出し、説明してくれるもの。
今回は、参加者が気に入ったポスターに投票できる!



ずらりと並んだパネル

PM2:20

実際に会場を回ってみる。環境問題、データ分析、薄膜、殺虫剤にアシストスーツの開発まで、よりどりみどり。

殺虫剤の危険性については、思わず真剣に質問してしまう。



説明と質問が飛びかう

PM2:40

講堂1階ものぞいてみた。

☆現役大学生と話せる対談会あり

☆名大グッズの販売あり

写真の他にも、数学の公式のか
わいいクリアファイル発見。
ほ、ほしい！



ミッソーマウスとのコラボも

☆大学生がどんな生活をしているか
(アンケート結果)の展示

空コマ(授業がない時間)に
過ごす場所No.1は図書館!



人気のアルバイトは家庭教師&塾講師

PM3:00

名古屋大学の松尾総長と、みんなで
記念撮影。

ただいまポスターセッション
投票の集計中...



集合写真パチリ

PM3:10

ポスターセッション優秀賞の発表。

この中から将来のノーベル
賞が生まれるかな?



おめでとうございます!

PM3:30

おまけ。帰りに名大の図書館に寄った。
なんとスタバがあった!

暑かったから大行列...



こっそり私が写っています

名大の三浦先生に聞いてみよう!
実際に理系のお仕事ってどんなことをしているんだろう?
名古屋大学大学院理学研究科ERATO伊丹ナノカーボン
プロジェクト研究推進主任の三浦亜季先生に聞いてみました!

Q1. どうして理系の道に進もうと思ったのですか?

A. 環境問題を解決する技術を開発したいと思ったからです。

Q2. どんなお仕事をしていますか?

A. 研究成果を社会に発信する仕事や、知財運営、研究運営に必要な
事務作業など、研究の推進につながる様々な業務をしています。

Q3. 今のお仕事をされていてよかったと思う時はどんな時ですか?

A. 世界レベルの研究成果が出る瞬間を間近で見られることです。
とても感動する瞬間です。

Q4. 理系の道を目指しているティーンズに向けて、一言、応援メッセージを!

A. 幅広い経験が研究に活かれます! いろんな体験をしてみてください。

三浦先生ありがとうございました! 鶴舞中央図書館では毎年、名古屋大学と
連携して夏(小中学生向け)と秋(大人向け)にサイエンスイベントを開催して
います。詳しく知りたい人は名古屋市図書館のHPを見るか「あいちサイエンス
フェスティバル」でWeb検索してみよう。